

# ＝ 会 告 ＝

## 講演会・見学会等の開催予定

2021年3月10日現在

開催予定月日	講演申込締切	前刷原稿提出締切	催しもの	開催地	共催学協会名	企画部門	備考
2021年4月19日(月)～20日(火)	2020年12月28日(月)	2021年2月12日(金)	第52期年会講演会及び定時社員総会 オンライン開催			第52期理事会	68巻12月会告2頁
2021年5月21日(金)			第476回航空宇宙懇談会	大阪府		関西支部	69巻4月会告3頁
2021年6月30日(水)～7月2日(金)	2021年3月12日(金)	2021年5月12日(水) 23:59分必着	第53回流体力学講演会/第39回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム	東京	宇宙航空研究開発機構	空気力学部門委員会	69巻2月会告5頁
2021年8月4日(水)～6日(金)	2021年3月22日(月)	2021年5月31日(月)	第63回構造強度に関する講演会 オンライン開催		日本機械学会 宇宙航空研究開発機構	構造部門委員会	69巻3月会告3頁
2022年2月26日(土)～3月4日(金)	2021年8月18日(水)	2021年12月25日(土)	第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS)ハイブリッド開催	大阪府 別府市		第33回ISTS組織委員会	69巻2月会告表2

新型コロナウイルスの感染終息の見込みがたないことから、状況によっては講演会を中止させていただく場合がありますので、ご来場前に、必ずホームページ等で開催の有無をご確認下さい。

<https://www.jsass.or.jp/> <日本航空宇宙学会 事務局 Tel : 03-6262-5313>

### 会員数 (2021年2月現在)

資格	正会員	学生会員	名誉会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)
2月会員数	3336	1032	50	0	61
1月会員数	3333	1035	50	0	61
差引増減	3	-3	0	0	0

### 新入会員名簿学生会員 (敬称略)

永江尚也 (同志社大学 院), 田中望己 (同志社大学 院), 東郷大河 (防衛大学校), 橋本怜央 (防衛大学校)

### 新入会員名簿正会員 (敬称略)

栗田大樹 (東北大学), 鷹取 慧 (同志社大学), 柳沼和也 ((株)Pale Blue), 岡田理典 (川崎重工業(株)), 沢田晋一 ((株)NTT データー), 平野祐二 (三菱重工業(株))

## 年会費変更 (一部値下げ) のお知らせ

第52期理事会では、会員委員会を中心に、会員サービス向上に向けた方策の検討を続けてまいりました。会員委員会での検討の結果、正会員の方の多くが年会費を自己負担でお支払いしていただいていることが分かり、年会費を値下げできないか検討してきました。

現在、正会員の会費は10,000円で、銀行口座自動振替、クレジットカード払い、コンビニ払い等、種々の支払い方法を準備しています。

この度、会費の支払い方法のうち、最も手数料や事務処理がかからない、「銀行口座自動振替でのお支払いの場合に限り」、会費を9,000円とすることを第581回理事会で承認しました。

現在、支払い方法を銀行口座自動振替にされている場合は、2021年分の年会費から自動で会費が9,000円になります。

この機会に支払い方法を銀行口座自動振替に変更される場合は、2021年5月20日までに預金口座振替依頼書(学会HP → 学会紹介 → お問い合わせ)をご記入の上、事務局まで郵送してください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-21 近三ビルディング4階

一般社団法人 日本航空宇宙学会 会員担当宛

## 第20回 令和2年度 日本航空宇宙学会学生賞 受賞者一覧

2021. 2. 19

	受賞候補者名	大学／高専名	学部学科名
1	阿部 瑞樹	東北大学	工学部 機械知能・航空工学科 航空宇宙コース
2	重清 智大	室蘭工業大学	工学部機械航空創造系学科航空宇宙システム工学コース
3	小林 風馬	帝京大学	理工学部航空宇宙工学科ヘリコプターパイロットコース
4	吉田 嶺花	日本大学	理工学部 航空宇宙工学科
5	藤丸 稜汰	東京大学	工学部 航空宇宙工学科
6	山崎 旭	東京工業大学	工学院 機械系
7	関野 秀都	東京都立大学	システムデザイン学部 航空宇宙システム工学コース
8	津田 卓磨	横浜国立大学	理工学部 機械・材料・海洋系学科海洋空間のシステムデザインEP
9	加藤真理亜	防衛大学校	システム工学群 航空宇宙工学科
10	渡部 耕平	東海大学	工学部 航空宇宙学科 航空宇宙学専攻
11	干谷 祐輔	早稲田大学	基幹理工学部 機械科学・航空宇宙学科
12	五十嵐若菜	神奈川工科大学	工学部 機械工学科 航空宇宙学専攻
13	井上 祐人	名古屋大学	工学部 機械・航空宇宙工学科
14	長橋 昌平	金沢工業大学	工学部 航空システム工学科
15	鈴木 基生	静岡大学	工学部 機械工学科
16	山本 淳平	名城大学	理工学部 交通機械工学科
17	和田 拓巳	京都大学	工学部 物理工学科 (宇宙基礎工学コース)
18	牛尾 洸大	大阪府立大学	工学域 機械系学類 航空宇宙工学課程
19	吉見 郁哉	鳥取大学	工学部 機械物理系学科
20	梶川 大河	九州大学	工学部 機械航空工学科 (航空宇宙工学コース)
21	上田 大貴	高知工科大学	システム工学群
22	隈江 真吾	日本文理大学	工学部 航空宇宙工学科
23	谷口 勝平	崇城大学	工学部 宇宙航空システム工学科
24	阿蘇谷遥至	第一工業大学	工学部 航空工学科 航空宇宙工学コース
25	若槻 雄介	九州工業大学	工学部 機械知能工学科 宇宙工学コース
26	黒坂 洋介	東京都立産業技術高等 専門学校	ものづくり工学科 航空宇宙工学コース

## 日本航空宇宙学会関西支部 第476回航空宇宙懇談会

主催：日本航空宇宙学会 関西支部

日時：2021年5月21日（金）15時～17時

会場：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B6棟105講義室（予定）

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

交通アクセス：大阪メトロ御堂筋線なかもず駅 または 南海高野線 中百舌鳥駅 から徒歩20分  
地図検索HPにて、「大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス」と検索ください。

オンライン開催に切り替える可能性もあります。

### 講演 1

#### スクラムジェット燃焼器内での 炭化水素混合燃料の着火研究

大阪府立大学工学研究科  
航空宇宙工学分野 助教 小川泰一郎

東北大学大学院の博士課程では、JAXA 連携講座富岡研究室において、角田宇宙センターにて富岡定毅客員教授（東北大）のもとで研究を行っていた。博士課程では、「熱分解を伴う炭化水素燃料のスクラムジェット燃焼器内での点火」をテーマに衝撃波管を用いた着火実験と、基礎燃焼風洞（直結型燃焼器試験設備）を用いた燃焼実験を通して、炭化水素混合燃料のスクラムジェットエンジン内での着火のモデル化について研究を行っていた。本講演では、JAXA 連携講座に所属し角田宇宙センターで研究を行った経験について紹介し、次いで、スクラムジェット燃焼器内での着火に関する研究について紹介する。

### 講演 2

#### レーザーローンチシステム

大阪府立大学工学研究科  
航空宇宙工学分野 教授 森 浩一

将来型宇宙輸送システムとして、レーザーローンチシステムが期待されている。これは、地上基地から高速に飛行するビークルに向けてレーザービームを伝送し、レーザービームの光のエネルギーを運動量に変換して推進力を得るものである。

その推進原理（レーザー推進）は、レーザーの発明とほぼ同時期に生まれ、これまで「繰り返しパルス型」や「連続作動型」の様々な推進機デザインが提案され、研究されてきた。近年では、商用でも 100kW のファイバーレーザーが登場するなど、実用化も決して夢物語では無くなってきている。このような状況を受けて、これまでより具体的な要素検討が行われるようになり、その結果、これまで研究の中心であった推進機の性能に加え、大気中レーザービーム伝送や追尾・制御などの広い技術領域においてチャレンジが必要であることもわかってきた。本講演では、このレーザー推進の研究の歴史、物理メカニズム、そして近年の研究の状況、そして、残された技術課題についてご紹介する。さらに、レーザー推進の概念から発展的に生まれた「スペースデブリのレーザークリーニング」「大気吸込式プラズマジェット推進」の研究に関する最近状況をご報告する。

参加費： 無料

\*参加は学会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝え下さい。

参加登録： ①氏名 ②所属 ③役職 を 2021 年 5 月 18 日(火)までに下記事務局までご連絡ください。

問合せ先：

大阪大学 大学院基礎工学研究科  
日本航空宇宙学会 2021 年度関西支部事務局  
<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>  
TEL: 06-6850-6165 (杉山)  
E-mail:  
[jsass-kansai2021@flow.me.es.osaka-u.ac.jp](mailto:jsass-kansai2021@flow.me.es.osaka-u.ac.jp)

## 【有料会告】

### 北海道大学 大学院工学研究院 応用量子科学部門 教員公募

1. 募集人員 助教（任期付） 1名
2. 所 属 応用量子科学部門
3. 専門分野 プラズマ計算科学分野（大気圧プラズマ、低温プラズマと物質等の相互作用の解析。電磁場・流体場・拡散場の解析、粒子解析、表面を含んだ化学反応解析、分子動力学計算等の研究分野のいずれかにおける経験を有し、今後大気圧プラズマおよび低温プラズマを対象とした数値解析研究に発展させる意欲があれば可）
4. 応募資格 博士の学位または PhD を有する方（着任時に取得見込みを含む）
5. 採用予定 令和3年10月1日以降のできるだけ早い時期  
令和4年3月に学位取得見込みの場合については、令和4年4月1日以降でも可
6. 任期 5年（任期満了前に、業績審査の上、任期の定めのない助教に移行することも可）
7. 提出書類： 研究業績目録、研究計画他（提出方法等も含めた詳細は以下の URL を参照）  
<https://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/research/recruit/>  
[整理番号 2020-27]
8. 提出期限 令和3年6月18日（金）必着
9. 問合せ先： 北海道大学大学院工学研究院応用量子科学部門部門長  
澤 和弘 TEL: 011-706-6663, Email: sawa@eng.hokudai.ac.jp

## 本 会 共 催 ・ 協 賛 ・ 後 援 行 事

**軽金属学会第140回春期大会**  
主 催：軽金属学会  
期 日：2021年5月15日(土)、16日(日)  
会 場：オンライン開催

**第6回マルチスケール材料力学  
シンポジウム**  
主 催：日本材料学会  
期 日：2021年5月21日(金)、28日(金)  
会 場：オンライン開催（オンラインポスター  
（5/21）、口頭発表（5/28））

**第58回日本伝熱シンポジウム**  
主 催：日本伝熱学会  
期 日：2021年5月25日(火)～27日(木)  
会 場：オンライン開催

**第26回計算工学講演会**  
主 催：日本計算工学会

期 日：2021年5月26日(水)～28日(金)  
会 場：北九州国際会議場・西日本総合展示  
場新館（北九州市小倉北区浅野3丁  
目）

**腐食防食部門委員会 第335回例会**  
主 催：日本材料学会  
期 日：2021年5月28日(金)  
会 場：オンライン方式（Zoom ミーティン  
グ）

**日本地球惑星科学連合 2021年大会  
(JpGU Meeting 2021)**  
主 催：日本地球惑星科学連合  
期 日：2021年5月30日(日)～6月6日  
(日)  
5/30～6/1 現地開催、6/3～6/6 オン  
ライン開催  
現地会場：パシフィコ横浜ノース（横浜市西  
区みなとみらい1-1-2）

**ロボティクス・メカトロニクス講演会  
2021**

主 催：日本機械学会  
期 日：2021年6月6日(日)～8日(火)  
会 場：オンライン開催

**SSII2021  
(第27回画像センシングシンポジウム)**

主 催：画像センシング技術研究会  
期 日：2021年6月9日(水)～11日(金)  
会 場：オンライン開催

**第59回日本接着学会年次大会**  
主 催：日本接着学会  
期 日：2021年6月24日(木)、25日(金)  
会 場：オンライン開催



## Joint Symposium

# 33rd ISTS & 10th NSAT & 14th IAA LCPM

Feb 26 - Mar 4, 2022

B-ConPlaza (tentative), Beppu, Oita, Japan

## Call for Papers

ISTS : International Symposium on Space Technology and Science  
NSAT : Nano-Satellite Symposium  
IAA LCPM: Low-Cost Planetary Missions Conference

Abstract Submission on line of <http://www.ists.or.jp/>  
Abstract Deadline : August 16, 2021

## *Beppu in Oita: Beautiful Harmony of Earth and Space for Sustainable Future.*

### Synopsis

The 33rd ISTS Organizing Committee and the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences (JSASS) would like to invite individuals of all nations interested in space-related activities to participate in this event. The 33rd ISTS will be held under the main theme of "Beppu in Oita : Beautiful Harmony of Earth and Space for Sustainable Future" We are also very glad to hold together 10th Nano-Satellite Symposium(NSAT), 14th IAA Low-Cost Planetary Missions Conference(LCPM) jointly with ISTS. Please join us at this event in Beppu, Oita.

### Venue

Beppu is the city of Oita Prefecture which is in the island of Kyushu, one of the four major islands of Japan, and about 100-minute flight from Tokyo. Beppu is the second largest city on Oita with a population of over 110,000 and is surrounded by Beppu Bay and the volcanic belt. Blessed with more than 2,000 hot springs, the climate of the city is mild with an average annual temperature of 15.8°C, and you can enjoy fresh farm and marine food from the nature around.

For more details: <https://www.pref.oita.jp/>

### Sessions

#### Plenary Special Programs after the Opening Ceremony

- Special Program 1 : World Space Activities
- Special Program 2 : Space Business

#### Organized Sessions (Tentative Plans)

- OS-1: Hybrid Rocket ~ Essentially Non-Explosive Propulsion for Future Fail-Safe Space Transportation Systems ~
- OS-2: ISTS Gemstone Project
- OS-3: Geothermal Energy

#### Technical Sessions

- Chemical Propulsion and Air-breathing Engines
- Electric and Advanced Propulsion
- Materials and Structures
- Astrodynamics, Navigation Guidance and Control
- Fluid Dynamics and Aerothermodynamics
- Small Satellite : Joint session with 10th NSAT
- Space Transportation
- Microgravity Sciences and Technology
- Thermal Control
- Satellite Communications, Broadcasting and Navigation
- Science and Technology for Human and Robotic Space Exploration
- 14th IAA LCPM: Low-Cost Planetary Missions Conference
- Sounding Rocket, Balloon and Flight Experiment using Small Flight Vehicle
- Earth Observation
- Space Life Science
- Space Power Systems
- Space Environment and Debris
- Systems Engineering and Information Technology
- Space Education and Outreach for the Benefit of All People
- Space Law, Policy and History
- Safety and Mission Assurance

#### Student Session

Special prizes will be awarded for meritorious papers.

### Poster Session (Plenary)

#### 10th Spacecraft Control System Design Contest

Special prizes will be awarded for meritorious papers.

### Cultural Night

### Registration Fee

Early Registration	55,000yen
On-site Registration	70,000yen
Early Student (ID Required)	10,000yen
On-site Student (ID Required)	20,000yen
Accompanying Person	5,000yen

Pre-registration will be available on the web. Instruction and further information for electronic and on-site registration will be given in the second announcement. Participants who are not pre-registered will be unable to give a presentation. Please be aware that only the regular and the student participants will be allowed to present a technical paper at the Symposium. Accompanying persons cannot attend any technical sessions.

### Paper Distribution

All the papers presented at the 33rd ISTS will be distributed on a paper download web site for convenience of all the regular and student participants. They are also will be open to public through the ISTS Web Paper Archives Site after the symposium. <http://archive.ists.or.jp/>

### Scholarship Program

\* depends on the situation.

The 33rd ISTS will offer scholarship for limited number of students who are not Japanese citizens and live outside of Japan at the time of application. For more <http://www.ists.or.jp/award.html>

### Important Dates

Online Abstract Submission Open	Aug.3, 2020
Deadline for Abstract	Aug. 16, 2021
Special Deadline for Paper Upload only for Student Session	Aug. 16, 2021
Notification of Acceptance for All authors	Mid of Sept, 2021
Notification of Presentation Schedule for All Authors	
Notification of Selection Results for Student Session	
Second Announcement and Tentative Program Issue	End of Oct., 2021
Online Pre-registration Open	
Online Paper Submission Open	
Deadline for Paper Upload	Dec.25, 2021
Deadline for Pre-Registration	Dec 25, 2021

Note: The author, who has not uploaded the paper by the deadline, is NOT allowed to make a presentation under the "No Paper, No Presentation" policy.